

7/8 Hirado City Photo News  
新たな定住者は「歯医者さん」



市役所で、「移住定住環境整備事業補助金」の贈呈式がありました。この制度は、平成27年4月1日に制定された補助金で、この日は新規転入者の住宅取得としては第1号となる山崎景右さん・美沙子さんご夫妻が市役所を訪れ、目録が贈呈されました。

山崎さんは、紐差町出身で、祖父や父も市内で歯医者を開業していたことから、自分もいつかの跡を継いで、地元で歯医者をしたいという思いがあり、今回定住をしようと決断し、家族5人で移住し住宅を建てたそうです。

7/4 Hirado City Photo News  
パラ卓球日本代表ようこそ！



7月3日～5日にかけて平戸文化センターで、2016年に開催されるリオデジャネイロパラリンピックに向けた障がい者卓球日本代表の強化合宿が行われました。

まず選手団は、市役所で市長に表敬訪問をし、その後2日間にわたりハードな練習を行いました。練習には長崎国際大学の学生ボランティアの皆さんや、平戸・野子両中学校の卓球部の生徒も補助員として参加し、球拾いなどで選手の皆さんをサポートしました。選手の皆さんは今後も平戸で定期的に合宿を行う予定です。

7/19 Hirado City Photo News  
生月伝統の和船競争



館浦宮の下広場・港内一円で「館浦競漕船大会2015」が24チームの参加のもと盛大に開催されました。開会式の入場行進では、山田小学校の鼓笛隊が先導し、大会に花を添えました。

レースでは、練習どおりに好タイムを出すチームもあれば、真っすぐ進まずコースから離れていくチームなど練習どおりにいかないチームもありました。また、今回は「海の上のターザン」はあいにく中止になりましたが、恒例の「魚のつかみ取り」は行われ、小さなお子さんたちは必死になって魚を追い回していました。

7/13-14 Hirado City Photo News  
鄭成功の子孫も大結集



7月13日、14日に川内町で「鄭成功まつり」が開催され、13日は、鄭成功記念館周辺で「前夜祭」と「川内かまほこフェスタ」が、盛大に行われました。

14日は、丸山公園の鄭成功廟で、「鄭成功生誕祭」が行われ、式典の中で中国駐長崎総領事館の鄧偉総領事は、「鄭成功を介した中国と平戸の交流が盛んになり、今後平戸への観光客が増えてほしい」とあいさつ。その後、中野愛児園の園児らによる和太鼓演奏、「中野自安和楽」保存会によるジャンガラムも奉納されました。

7/11 Hirado City Photo News  
カップに水難事故防止を祈願



田平地区で毎年恒例の行事「がわっば祭り」が行われました。平戸口棧橋から平川橋まで、カップの格好をした地元の人たちと子どもたちでパレードを行い、がわっば供養塔で水難事故防止を祈願しました。

その後、田平町民センターに移動し、田平町内の小学生が書いたカップの絵やポスターの表彰式が行われた後、長さ約30mの「大がわっば巻きづくり」や、頭にかっぱの皿を乗せて片足立ちで紐を引き合う「がわっば相撲」などを楽しんでいました。

6/29 Hirado City Photo News  
世界初！昆虫目線の3Dムービー



平戸文化センターで、7月11日から全国公開された映画「アリのままでいたい」の完成披露試写会が行われました。

当日は、地元の小中学生など約500人が観覧し、昆虫の目から見た世界のカブトムシやクワガタの対決シーンやカマキリの生態など大迫力の3D映画に、見入っていました。

上映後、平戸市名誉市民でもある栗林慧<sup>せし</sup>監督の舞台あいさつが行われ、栗林さんの母校の田平南小学校の児童から全校生徒で制作した寄せ書きがサプライズプレゼントされました。

6/21 Hirado City Photo News  
ふるさと長崎の民謡を全国へ



平戸文化センターで、NHK「民謡魂ふるさとの唄」の公開収録が行われました（7月11日放送）。

当日は、地元の人たちなど約800人が来場し、長崎の民謡など併せて9曲が披露されました。

平戸からは、田助地区に昔から伝わる民謡「田助ハイヤ節」が披露され、地元の田助ハイヤ節保存会のメンバーと田助小学校の児童併せて30人が、2つの小皿や鳴竹を打ち合わせてリズムを取りながら力強い歌と踊りを披露し、会場からは大きな拍手が送られていました。